

各 位

平成 21 年 7 月 29 日

## 研究開発の強化を目的とした総額8億円の第三者割当増資を実施

エリーパワー株式会社  
代表取締役社長 吉田 博一

エリーパワー株式会社は、世界のエネルギー問題と環境問題を解決するためエネルギーを貯蔵して活用するシステムを普及させようとの理念のもと、蓄電のための大型リチウムイオン電池の量産による大量普及を目指してその開発を進めてまいりました。その第一ステップとして神奈川県川崎市で量産工場の建設に着手することとなり、その事業資金75億円の調達は5月までに完了いたしました。

続きまして今回、更なる量産化技術の向上のため、研究開発設備の導入ならびに研究開発材料の調達を目的として、総額約 8 億円の第三者割当増資を実施し、豊田通商株式会社、ミツミ電機株式会社ならびに三井住友海上キャピタル株式会社の3社に引き受けに応じて頂きました。

これにより当社設立以来の払込資本の総額は 101 億円に達しております。製品性能の更なる向上を図るために、滋賀県に技術開発センターを建設し技術開発力の強化、次世代電池の開発を目指し、たゆまぬ技術開発を推し進めてまいります。

弊社は事業の発展と成功を実現するために、このたび新たに参画して頂いた3社を含め、出資パートナー各社と密接な連携を図って参ります。また、今後も新規製品の開発ならびに量産化技術の開発に積極的に取り組むことにより、事業競争力の強化を実現し、電力貯蔵システムを量産し普及に努めるとともに、電力貯蔵用大型リチウムイオン電池開発のパイオニアとして、そして環境保全に取り組むリーディングカンパニーを目指し最大限努力して参ります。

### 記

#### 1. 第三者割当増資の概要

(1) 増資総額	約 8 億円		
(2) 増資完了時期	平成 21 年 7 月 27 日(月)		
(3) 割当先及び割当株式数及び金額			
豊田通商株式会社	735,000 株		499,800,000 円
ミツミ電機株式会社	294,000 株		199,920,000 円
三井住友海上キャピタル株式会社(注 1)	150,000 株		102,000,000 円
合計	1,179,000 株		801,720,000 円

注 1) MSIVC キャンパス 3 号投資事業有限責任組合

#### 2. 資金使途

本件調達資金は、120 万セル設備検討に向け、主に電池性能や量産技術の向上(長寿命化、安全性の更なる向上、低価格化、量産技術の向上等)を図るための研究開発設備の導入および研究開発用材料調達に係わる資金等に充当するものです。

### 3. 増資後の株主構成(2009年7月27日現在)

株主名	株式数(千株)	出資比率	
大和ハウスグループ	7,100	31.71%	
(大和ハウス工業株式会社)	(3,550)	(15.85%)	
(エネサーブ株式会社)	(3,550)	(15.85%)	
シャープ株式会社	4,538	20.27%	
国際石油開発帝石株式会社	3,076	13.74%	
大日本印刷株式会社	3,000	13.40%	
株式会社ミツウロコ	1,538	6.87%	
株式会社安川電機	769	3.43%	
豊田通商株式会社	735	3.28%	
興銀リース株式会社	307	1.37%	
ミツミ電機株式会社	294	1.31%	
株式会社ジャフコ(注1)	307	1.37%	注1: ジャフコ・スーパーV3共有投資事業有限責任組合
横浜キャピタル株式会社(注2)	153	0.68%	注2: ゆめファンド4号投資事業有限責任組合を含む
三井住友海上キャピタル株式会社(注3)	150	0.67%	注3: MSIVCキャンパス3号投資事業有限責任組合
個人	426	1.90%	
合計	22,393	100.00%	

### 4. 新株主各社について

社名	豊田通商株式会社	ミツミ電機株式会社	三井住友海上キャピタル
住所	名古屋市市中村区名駅4-9-8 センチュリー豊田ビル	東京都多摩市鶴牧2-11-2	東京都中央区八重洲2丁目2番10号 八重洲名古屋ビル3階
業種	卸売業(商社)	電気機器製造販売	ベンチャーキャピタル
代表取締役	清水 順三	森部 茂	小室 忠俊
設立年月日	1948年7月1日	1949年4月16日	1990年12月6日
資本金	64,936百万円	39,890百万円	1,000百万円
純資産	530,919百万円	146,456百万円	--
総資産	2,130,089百万円	195,286百万円	--
売上高	6,286,996百万円	247,734百万円	--
経常利益	98,396百万円	17,659百万円	--
純利益	40,224百万円	11,156百万円	--
上場市場	東証1部, 名証1部	東証1部, 大証1部	非上場
特徴	トヨタグループの商社で06年にトーメンと合併。原料調達や物流、海外販売でトヨタ支援	電子部品大手。PC周辺機器主体からゲーム機構部品などへ事業転換進む。部品内製化に注力	i)ベンチャー企業に対する投資事業(株式、債券等) ii)投資事業組合の組成、運営及び管理

## 5. 当社について

【設立】 2006年9月28日

【払込資本額】 101億6,722万円（内資本金50億9,711万円）

【本社所在地】 品川区大崎1-6-4 新大崎勸業ビルディング19階（登記上:東京都千代田区）

【その他事業所】 関西事業所、関西事業所 R&D センター

【事業概要】 大型リチウムイオン電池の量産と価格低下を目指す、電池ならびに周辺機器・システムの開発・製造

【社員数】 72名(2009年7月27日現在)

### 【当社について】

当社設立の背景は、2002年までさかのぼります。当時三井住友銀リース会長兼社長だった吉田が、慶應大が開発した電気自動車に試乗したことをきっかけに、生涯を環境問題解決のために尽くしたいと考えたことが現在のエリーパワーに至った原点です。

吉田は、慶應義塾大学へ教授として召還され2003年4月、吉田が統括責任者として、約30社の民間企業の協賛を得て、エリープロジェクトがスタートしました。1年という短期間で高性能電気自動車を開発し、最高速度370km/hを記録。数々の要人が試乗され、未来の低炭素社会の姿を実感していただきました。

研究プロジェクトを通して電気自動車を実用化する上で大きな問題があるということが分かりました。すなわち、電気自動車のエネルギー源である大型リチウムイオン電池が量産されていないために非常に高価であることでした。そこで、2004年5月に大型リチウムイオン電池を定置型用途および自動車用途と共用することにより低価格化への実現策を研究するエルスクエアプロジェクトを立ち上げ、大量普及による低価格化に向けた取り組みを推進致しました。

リチウムイオン電池を量産することによって低価格化が可能という見通しが立ちながら、いざ生産に踏み切れるリチウムイオン電池メーカーはおらず、ならば自らが大型リチウムイオン電池を大量生産を行うということで2006年9月に吉田ら、研究室の数名で立ち上げたのがエリーパワー株式会社です。

設立から約3年を経て今般、川崎に量産工場を建設することになりましたが、この建設計画は、平成21年6月24日付けで経済産業大臣より、産業活力の再生及び産業活動の革新に関する特別措置法に基づく資源制約対応製品生産設備導入計画に第1号として認定されました。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

エリーパワー株式会社

東京都品川区大崎1-6-4

新大崎勸業ビルディング19階

(大崎ニューシティ4号館)

TEL.03-6431-9043

担当: 玉木